

公益財団法人軽井沢美術文化学院

2021 年度事業計画書

I. 美術館の運営

「文化学院 西村伊作の理想の学校 大正時代の先覚者たちの挑戦」

2021 年 6 月 6 日(日)～11 月 3 日(水)

10:00～17:00 水曜休館・但し 8/1～9/15 無休

1. 企画展

大正から昭和にかけて生活文化研究者として注目をあびていた西村伊作は、若いころから自然の美しさを愛し、生活を芸術とすることに喜びを見出し、欧米風の生活様式、建築や文化を独学実践していました。自分の子供たちも世界に通用するような文化的素養のある人に育てたいと願い、芸術を中心とした教育で実現できないか考えました。画家の石井柏亭と歌人の与謝野晶子は彼の思想に強く共鳴し、理想の教育を行うための学校の創立を共に考えます。男子と同等に、女子を完全な個人に導く前代未聞の芸術教育プロジェクトの始動、100 年前の 1921 年の春、文化学院は産声をあげました。

西村伊作、与謝野晶子・寛、石井柏亭と河崎なつ、大正時代の先覚者たちが目指した芸術による高踏的人間教育は、未知数の子女たちひとりひとりの人格を尊び、当時一流の学者、芸術家たちが親しく教え本物を与えることで、それぞれが臆することなく自分の内にあるものを感じ考え表せる「完全なる個人」に育てるものでした。大正自由教育運動の追い風も受けながら、文化学院と自由闊達に学び表現する生徒たちの動向は当時社会の注目を浴びました。

百年前、西村伊作らが起こした芸術教育プロジェクトが起源である理想の学校、文化学院の創立期とその成熟過程をご紹介します。

第一室：(常設展) 西村伊作の生い立ち 伊作の思想をそだてたライフスタイルの紹介

第二室：文化学院の芸術教育 さまざまな斬新な試み

環境 カリキュラム 行事 成果 (写真パネルや教材等を展示)

第三室：芸術教育プロジェクトをけん引した講師たち (写真パネルと作品を展示)

与謝野晶子・寛 河崎なつ 石井柏亭 赤城泰舒 佐藤春夫 山本蘭村 村井正誠

2. 美術館でのイベント

- ◇ ローズフェスティバル 6 月 13 日(土)～7 月 5 日(日) (水曜日休館日)
- ◇ ギャラリートーク 8 月
- ◇ 秋のアートフェスティバル 10 月初旬

3. ルヴァン美術館夏のコンサート

- ① 8月9日(月・祝) 近藤和花ピアノコンサート (プライベートコンサート)
- ② 8月中旬 ボサノバ・サパトス/木村 純・三四郎 (第17回)
- ③ 8月下旬 寺田悦子・渡辺規久雄/四手連弾ピアノコンサート
- ④ 9月初旬 ギターコンサート

II. アトリエ・ルヴァン (Atelier Le Vent) の運営

2020年はコロナ禍であり、木工教室しかワークショップは開催しなかった。

2021年はこれまで実績のあるワークショップを予定している。子供向けのワークショップ(夏休みの自由研究対策)として木工教室、陶芸教室、染色教室8月実施を計画中である

◇ 八知の会	7月3日(土)
◇ 陶芸教室 7月	7月
◇ フラワーアレンジメント (講師: 捧泉美)	7月下旬
◇ 木工教室 (講師: 永島秀之)	8月中旬
◇ 陶芸教室 8月	8月中旬
◇ 子供の染め教室	8月下旬平日
◇ 陶芸教室 9月	9月中旬
◇ ウィンターオーナメント作り	10月中旬

アトリエの貸し出し

一般への貸し出しも行っている。会場のほか、イーゼルや椅子、音響設備や陶芸用の窯も貸し出しも行っている。2021年3月現在予約はまだない。

III. 宿泊施設の運営

美術館付属の宿泊設備はイベント講師や美術館のコンサート演者、および美術館訪問の一般の方の宿泊設備として本年度も引き続き運営する。文化学院卒業生および関係者には若干の割引が適用する。

本年度は新型コロナの状況を見極めた上で宿泊受け入れの可否を決定したい。

IV. ショップ・カフェの運営

スタッフの人員効率をあげるため、2020年度は美術館受付、ショップ、カフェへの配置、シフト計画を東京事務所で行ったが、本年度も更なる効率化を目指す。新しいレジの運用、インターネットによるレジからの売り上げ明細、小口現金支出の報告もトラブルなく行われたので、今年度も更に効率を上げたい。

1. ショップ

従来の商品を中心とするが、昨年度好評だった手作りマスクも引き続き販売する。

2. カフェ

昨年度は新しいシェフによる料理の提供となり客足が心配であったが、値段、味ともに評価された結果、屋外のオープンな環境と相まって前年度を上回る売り上げとなった。

本年度はコンサートなどのイベントが開催できれば更なる売り上げ増を期待できる。美術館・カフェの来場者の増加、イベントやコンサート開催時には2017年完成した70台収容の駐車場とカフェのバリアフリー化が活かされている。

V. その他

1. ひきつづき感染症対策を行う

2020年度はコロナ禍で長野県からも種々注意事項もあり、美術館開館を1カ月遅らせ、感染症対策をとった。美術館では検温、アルコール消毒、来館者（代表者）の氏名と連絡先の記載をもとめた。カフェのテーブル数を減らして間隔を開け、美術館・カフェのスタッフはマスク着用での接客を行った。

2021年度も引き続き同様な感染症対策は行う予定である。

2. 無休期間の変更

2021年度より、これまで7月15日から9月15日まで無休期間だったが来館者は多くなく、経費面から今年は8月1日から9月15日までと期間を短く変更する。

3. 他の団体への寄付

国定重要文化財の指定をうけた新宮市の西村記念館の修復作業は2019年末に終了、2020年春にリニューアルオープンした。西村伊作が建築した旧チャップマン邸も記念館に先立ち2019年春に修復を終え市の多目的施設として活用されている。両館については引き続き維持、保全のための寄付を継続する。

4. アーカイブ作業

2018年3月に閉校した文化学院から多くの歴史資料や書籍を譲り受けたこともあり、財団の保有する収蔵品、史資料のデジタルアーカイブ化の作業に引き続き取り組む。

5. 休館中の美術館施設貸し出し

2021年5月22日にウェディングへの貸し出しを予定している。